

桐生自然観察の森

市民の皆さんに親しまれて30年

桐生自然観察の森は、平成元年4月1日に開園してから、3月末で30年になります。

全国に10か所しかない「自然観察の森」の一つで、園内には、ネイチャーセンターや観察施設があるほか、定期的に自然を体験する行事などを開催し、野鳥や昆虫をはじめとした桐生の自然に触れ合うことができます。

身近にある貴重な施設にぜひお出かけください。問い合わせは、自然観察の森（☎65 - 6901）へ。

新緑の園内

開園の経過

昭和50年代、急速に市街化が進むなか「桐生周辺の植物を守る場所とセンター機能を果たした施設がほしい」との声が市民からあがり、自然保護センター構想が立ち上がり、自然保護センター構想が実現するために国の「自然観察の森」事業を活用して整備した施設が桐生自然観察の森です。

国の「自然観察の森」事業の目的は、野鳥や昆虫をはじめ身近な自然とふれあえる場所を整備し、自然観察などを通じた自然保護教育推進の拠点づくりです。昭和61年度に国の認可を受けて着工し、平成元年4月1日に開園しました。

園内の概要

・広い園内

場所は、吾妻山西側の川内町二丁目地内にあり、広さは約20ヘクタール、園内にはネイチャーセンターや野鳥観察のための観察舎が整備されています。また、吾妻山と鳴神山を結ぶハイキングコースにも近く、園内を通る関東ふれあいの道でつながっています。園内の林は、主にクスギヤコナラなどの雑木林と、スギやヒノキの植林地で、いわゆる

里山といわれる環境です。また、絶滅危惧種「カッコソウ」の移植地があり、4月上旬には美しい花を間近に見ることが出来ます。



移植地のカッコソウ

観察のための園路が巡り、池や湿地もあることから四季を通して昆虫や鳥などの動物や植物の生き生きとした姿に出会うことができます。



2月から3月によく見かけるルリビタキ

・園内の情報が詰まったネイチャーセンター

中心施設のネイチャーセンターには、生き物の標本や園内の自然情報板、その時期の見どころなどを展示した展示コーナー、レクチャールームがあり、双眼鏡の貸し出しも行っていきます。自然観察指導員（レンジャー）も常駐し、

来園者の案内や情報提供を行っています。事前に申し込みのあった団体には、年齢、観察時間などの希望にあわせた自然観察プログラムを提供し、園内を案内します。

ボランティアの協力で運営

園の運営は、ボランティアの皆さんの協力で成り立っています。

「桐生自然観察の森友の会」は、開園の翌年に結成されたボランティア団体で、園内整備や行事、生物調査など様々な場面で協力していただいています。

また、ボランティアのレンジャーも現在50人の登録があり、団体向けの自然観察プログラムの作成や案内をしています。



桐生自然観察の森友の会の園内整備

様々な行事を開催

開園時から30年間続いている夏休みの「こども自然教室」のほか、バードウォッチングや親子教室など、年間に60ほどの自然に親しむための行事を開催しています。

自然観察の森の行事は、広報きりゅう、市ホームページで案内しています。今号でも



親子教室（エサ台作り・鳥観察）



夏休みの「こども自然教室」

桐生自然観察の森友の会会員の声

17ページで2つの行事を紹介しています。

貴重な観察記録

自然観察の森では、毎日、園内の生物調査をしています。30年続いているこの調査結果は、細かな情報が積み重なった大切な資料です。

初めて園内でイノシシが確認された日やカワセミが何を

未来につなげる活動を続けたい

園内整備や行事の手伝いなど仲間と楽しく活動しています。会員の皆さんは、自然に対して意識・関心が高く、とても刺激になります。自然観察指導員としても活動していますが、自然を見る子どもたちの目の輝きを見ると、とてもうれしくなります。

自然観察の森友の会
木暮幸弘さん
(菱町二丁目)



桐生自然観察の森 開園30年記念講演会

「五感で発見、自然のふしぎ」

植物学者の多田多恵子さんを講師に迎え開催します。

多田さんは東京大学大学院博士課程修了の理学博士で、これまでも桐生自然観察の森の観察会で講師を務め、自然観察の魅力や面白さを熟知しています。また、NHKラジオ「子ども科学電話相談」の回答者も務めています。

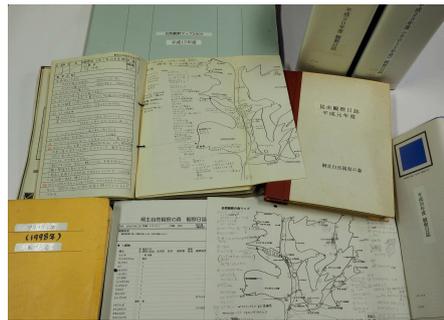


期日＝3月17日（日）

時間＝午後1時30分から（午後1時開場）

場所＝市民文化会館小ホール

問い合わせ＝自然観察の森（☎65 - 6901）



30年にわたる生物調査のデータ

餌に食べたか、今ではどこでも鳴いているガビチョウ（特定外来種）はいっつ入ってきたかなど、園内の詳細な変化が記録されています。調査結果と気象記録を連動させることで、地球温暖化に

身近な自然との 気軽な触れ合い

自然観察の森は、豊かな里山環境を健全な状態で維持する自然保護の場であるとともに、身近な自然と触れ合える場です。

多くの人に桐生の自然環境の素晴らしさを知っていただける施設として今後も運営していきます。

皆さんのご来園を森の生き物たちと一緒にお待ちしております。

よる生き物への影響などが分り、今後、生き物の保護や桐生の自然史を振り返るときに役立つものと考えています。

こんにちは！
市長です



全国の有名な祭りが東京ドームに集結するイベント「ふるさと祭り東京」に、群馬県で初めて「桐生八木節まつり」が選ばれ、1月11日に出演しました。

市では、桐生八木節まつりを全国的な祭りに行いたいこうと、ブルーインパルスの招致や浅草、日光での八木節上演などの観光PRに取り組んできました。

今回、青森ねぶた祭や沖縄エイサーまつりなど、全国の名だたる祭りと共に「桐生八木節まつり」を紹介できたことは、全国的な祭りとなる第一歩と感じ、大変うれしく思っています。また、これも市民の皆さんによって、伝統ある祭りが大切に継承されている結果だと思っています。

今後も、歴史と伝統、誇り高い文化をもつ桐生市の魅力を全国の人に知ってもらえるよう取り組んでまいります。